

CHAPTER 01

解 答

01

②

- ・スマートフォンやタブレットなどの携帯情報端末を主なターゲットとしている。
- ・ロゴは緑色のロボットで、正式名称はない。「ドロイド君」は日本での通称。
- ・Windowsでも開発が可能である。

解 答

02

③

すべてのAndroid端末がアクセスできるわけではなく、Googleが定めた基準(CDD)に従った端末だけがアクセスできる。

解 答

03

④

Android Developersサイトの情報は会員登録をしなくても無料で全ての開発情報を見ることができる。

CHAPTER 02

解 答

01

①

- ・Android Studioを実行するには、Java SE 6以上のバージョンが必要。
- ・Java開発環境として必要なのは「JDK：Java SE Development Kit」である。

解 答

02

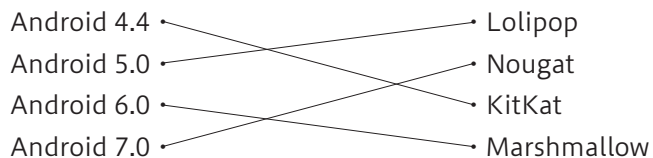
③

エミュレータはソフトウェアで動作するため、動きが遅い。

解 答

03

以下の図の通り



CHAPTER 03

解 答

01

- ① mdpi
- ② 240
- ③ 320
- ④ xxhdpi

解 答

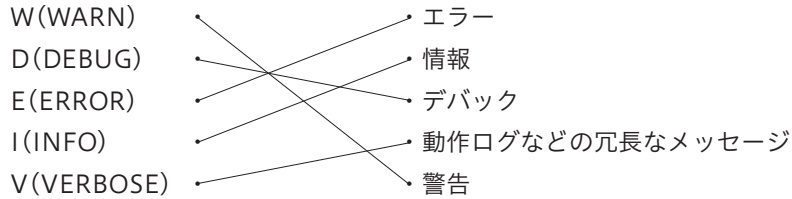
02

- ① ○
- ② × (正しくは「.xml」である)
- ③ ○
- ④ ○

解 答

03

以下の図の通り



CHAPTER 04

解 答

01

- ① 親クラス
- ② EditText
- ③ TextView
- ④ 画像

解 答

02

- ① ○
- ② × (縦も横も配置でき、使用頻度も高い)
- ③ ○
- ④ × (Android OS 4.0で追加された)
- ⑤ ○

CHAPTER 05

解 答

01

- ① ○
- ② ○
- ③ × (実際には Activity と同じ Thread で動作するため影響がある)
- ④ ○

解 答

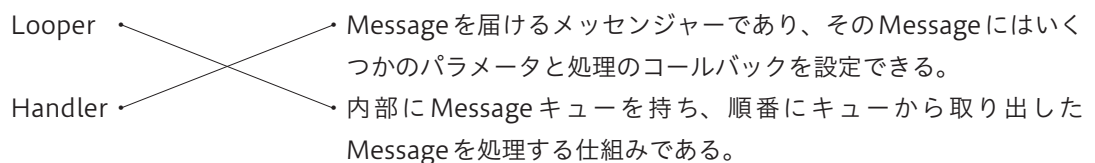
02

- ①
- ・ SupportLibrary の Fragment は Android1.6 から利用できる。
- ・ Fragment から Activity のインスタンス取得は「getActivity」で取得できる。

解 答

03

以下の図のとおり



CHAPTER 06

解 答

01

GridLayout または TableLayout であれば格子上のレイアウトを作成するの適している。
詳細は LESSON 26 の表 1 を参照。

解 答

02

- ① match_parent
- ② center
- ③ vertical
- ④ wrap_content
- ⑤ wrap_content

CHAPTER 07

解 答

01

- ① 暗い色、② Light、③ DarkActionBar

詳細は LESSON 30 の表 1 を参照。

解 答

02

- ① × (タイトルや背景、高さなど変更できない点が多い)
- ② ○
- ③ ○

CHAPTER 08

解 答

01

- ① ○
- ② × (アプリインストール時に内部ストレージ、外部ストレージともにアプリ専用ディレクトリは削除される)
- ③ × (読み書きする場合には、AndroidManifest.xml にパーミッションの追加が必要。詳細は LESSON 33 のリスト 2 を参照)
- ④ ○

解 答

02

- ① ○
- ② × (Gradle のプラグイン適用です)
- ③ × (Java のソースフォルダの設定です)
- ④ × (applicationId の設定です)

解 答

03

- ① uses-permission、② INTERNET

詳細は LESSON 35 のリスト 5 および講義「インターネットへのアクセス」を参照。

CHAPTER 09

解 答

01

①と③

解 答

02

②と③

解 答

03

①と②

解 答

04

③

CHAPTER 10

解 答

01

すべて必要である。

解 答

02

- ① ○
- ② × (Android 専用ソフトウェアパッケージ)
- ③ ○
- ④ × (コマンドラインからでも作成できます)

解 答

03

① (コンテンツポリシーのスパムの条項に違反)と② (コンテンツポリシーのプロモーションの条項に違反)